

研究概要

<平成 30 年度研究課題>

タイトル：自然免疫機構を標的とする新たな抗炎症薬の開発に資する基盤的研究

NLRP3 インフラマソームと呼ばれる自然免疫機構は、死細胞から放出される ATP、環境中の汚染物質などに応じて活性化し、サイトカイン放出を介して過度の炎症による組織障害を引き起こすことが知られています。私たちは、NLRP3 インフラマソーム活性化を阻害する化合物を同定しています。本研究では、当該化合物がマウスモデルにおいて急性肝炎を緩和することを見出し、また当該化合物が抗炎症活性を発揮するメカニズムの解明に取り組みました。